

ビッグスロットルボディーキット 取扱説明書

製品番号 03-05-0166 (スーパーヘッド 4V+R 用)

適応車種 CT125 (JA65-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎再使用する部品に関し、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。
- ◎当製品はクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎当製品を使用するには車種専用のFI コン TYPE-X が別途必要です。
すでにFI コン TYPE-X をお持ちの場合は、弊社ホームページ上にあるビッグスロットルボディ対応のプリセットデータをダウンロードし、ご使用下さい。(右記二次元コード読み込みにて、ダウンロードページを開く事が出来ます。)
- ◎当製品とエアフィルターキット (03-01-0045/0046) を併用する際は、フューエルインジェクタ (G-1) (00-00-0487) が別途必要です。



注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

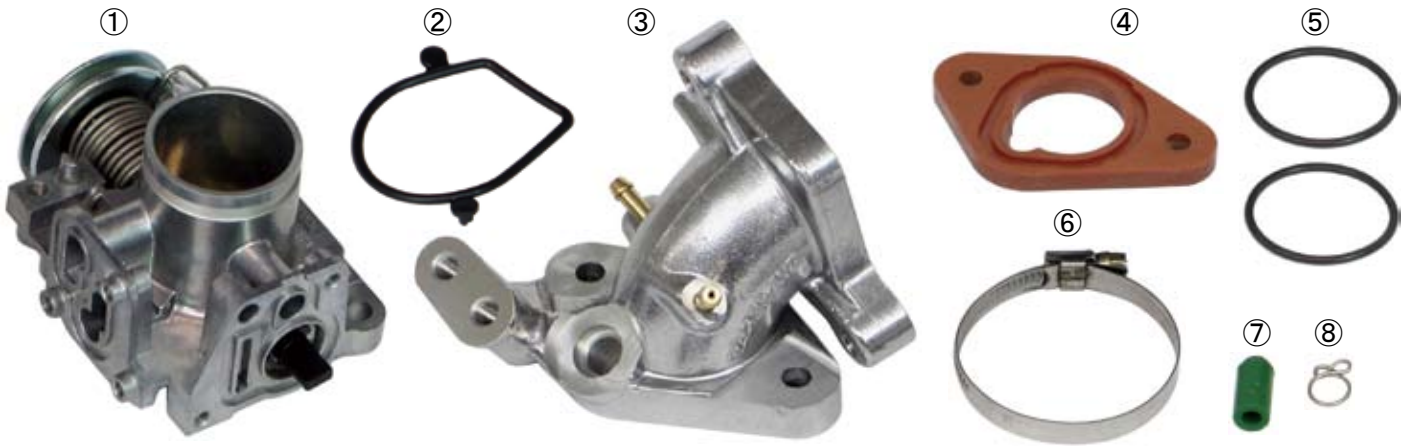
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、ケガ、火傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。(火災、爆発等につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ビッグスロットルボディ	1	_____
2	ラバーパッキン	1	00-03-0438
3	インテークマニホールド COMP.	1	00-03-0335 (スーパーヘッド 4V+R 用)
4	インシュレーター	1	00-03-0337 (⑤ O リング 2 ケ付)
5	O リング 35mm	2	00-03-0008
6	バンド (30-45/9)	1	00-00-0050
7	キャップ 4x7x12	1	00-03-0011
8	チェーンクリップ	1	00-00-2460 (5 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合が
あります。使用につきましては問題ございません。
予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◎車種専用の弊社製 FI コン TYPE-X と必要に応じてフューエルインジェクタを別途用意し、同時装着して下さい。

・ FI コン TYPE-X: 05-04-0125

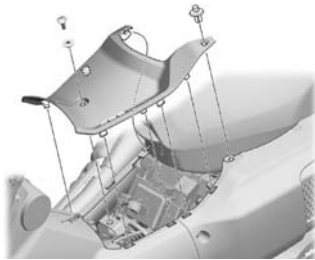
・ フューエルインジェクタ (G-1): 00-00-0487

※ FI コン TYPE-X やその他のエンジン部品と同時に取り付け作業を行う際は作業が重複する箇所もありますので各キットの取扱説明書の
内容をよく確認した上で作業を行って下さい。

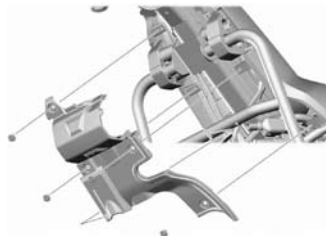
●外装部品及びエキゾーストマフラーの取り外し

○純正サービスマニュアルを参照し、以下を取り外す。エキゾーストマフラーがノーマルから変更されている場合は、その取説に従う事。

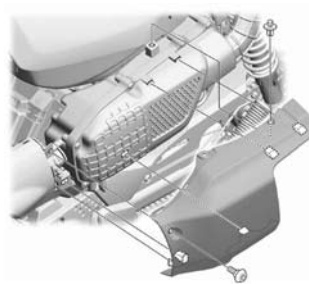
センタカバー



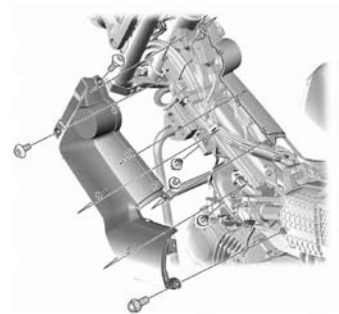
メインパイプロアカバー



エアクリーナガーニッシュ



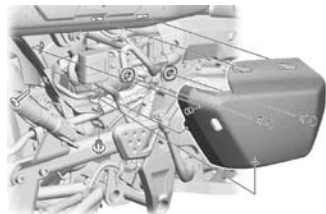
L. メインパイプカバー



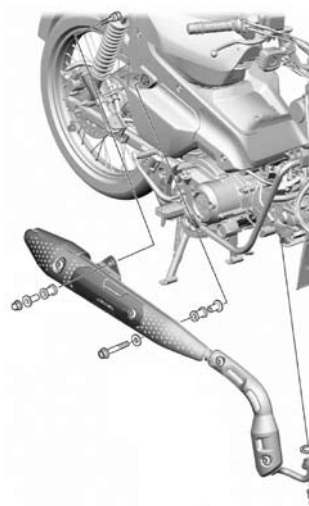
アンダガード



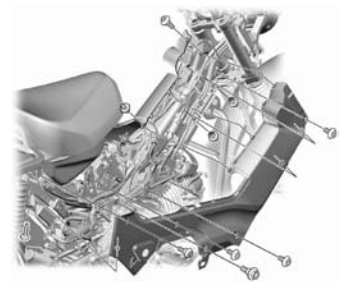
R. ボディカバー



エキゾーストマフラー

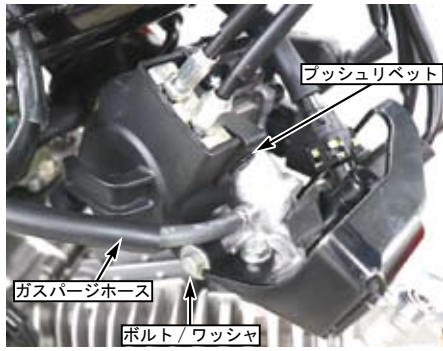


R. メインパイプカバー



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

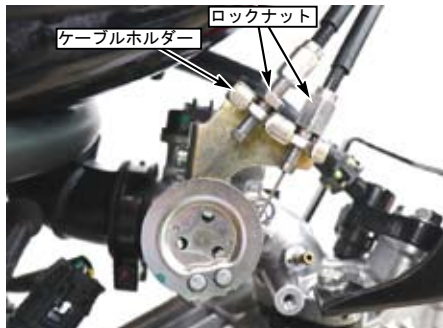
○インレットパイプからガスパージホースの接続を外し、プッシュリベットとボルト/ワッシャを取り外し、ドラムカバーを取り外す。



○スロットル開度センサー 3P カブラ、インジェクタ 2P カブラ、ソレノイド 2P カブラの接続を外す。



○ロックナットを緩め、スロットルケーブル 2本をケーブルホルダーから取り外す。スロットルドラムからインナーケーブル 2本を取り外す。



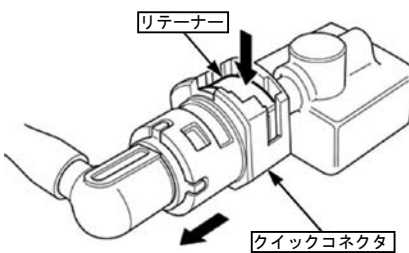
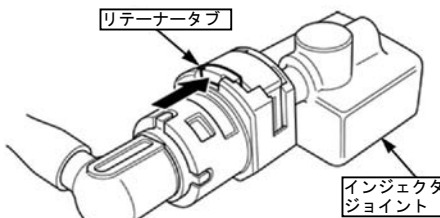
○コネクティングチューブのバンドのスクリューを緩める。



○インレットパイプのボルト 2本を取り外してスロットルボディをコネクティングチューブから抜き取り、マニホールド/スロットルボディ/インジェクタガードとインシュレーターをシリンダーヘッドから取り出す。



○フューエルホースのクイックコネクタの接続を以下に従い、インジェクタジョイントから外す。
 ・クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
 ・リテーナタブをジョイント方向に押しながらリテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



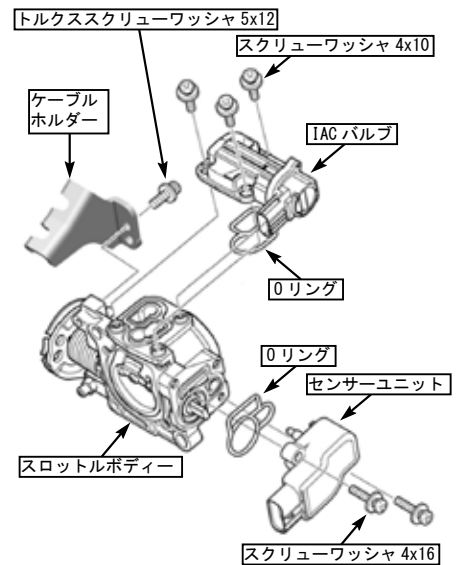
○インジェクタジョイントのボルト 2本を取り外し、インジェクタとシールリングと共にインレットパイプから取り外す。



○スロットルボディをマニホールドにためているボルト 2本を、再使用するので取り外す。



○各スクリューを取り外し、ノーマルスロットルボディからセンサーユニット /O リングと IAC バルブ /O リングとケーブルホルダーを取り外す。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●ビッグスロットルボディの取り付け

○前述の図を参考に各スクリューとOリングを再使用し、センサーユニットと、IACバルブとケーブルホルダーを①ビッグスロットルボディに取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.1N・m (0.21kgf・m)
ケーブルホルダートルクスクリュー
トルク：3.4N・m (0.34kgf・m)

○②ラバーパッキンを取り付けた①ビッグスロットルボディをノーマルのフランジ6角ボルト6x20 2本を使用して③インテークマニホールド COMP. に取り付け。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ6角ボルト6x20
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○下記のインジェクタとノーマルのシールリングを③インテークマニホールド COMP. に差し込み、インジェクタジョイントをボルト2本にて取り付け。

- ・ノーマルエアクリーナーボックスを使用する場合・・・ノーマルインジェクタ
- ・エアフィルター (03-01-0045/0046) を使用する場合・・・フューエルインジェクタ G-1 (00-00-0487)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○コネクティングチューブより、ノーマルのチューブバンドを取り外す。コネクティングチューブに⑥バンド (30-45/9) を取り付け、①ビッグスロットルボディにはめ込む。

※別売りのエアフィルターを取り付けの際にはその取扱説明書に従う事。



○③インテークマニホールド COMP. とシリンダーヘッドの間に⑤Oリングを両側に取り付けた④インシュレーターをセットし、③インテークマニホールド COMP. / ①ビッグスロットルボディ / インジェクタガードをノーマルのフランジ6角ボルト6x28 2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

※この時、④インシュレーターの両側の溝に⑤Oリングが付いている事を確認する事。また、インシュレーターの内側の形状をシリンダーヘッドのポート形状に合わせる事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ6角ボルト6x28
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○コネクティングチューブのバンドのスクリューを締め付ける。

○インナーケーブル2本をスロットルドラムに接続し、スロットルケーブルをスロットルケーブルホルダーに取り付け、スロットルグリップの遊びが適正な範囲になる様にアジャスタを回して遊びの調整を行う。調整後、ロックナットを締め付ける。遊び範囲：スロットルグリップフランジ部で2mm～6mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：4.5N・m (0.45kgf・m)

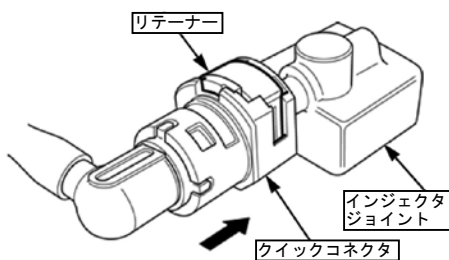


○スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付け、ドラムサブカバーをプッシュリベットにて取り付け。ガスパージホースをノーマルのホースクランプを使用してインテークマニホールド COMP. のユニオンに接続する。⑦キャップをインテークマニホールド COMP. のユニオンに取り付け、⑧チューブクリップにて固定する。

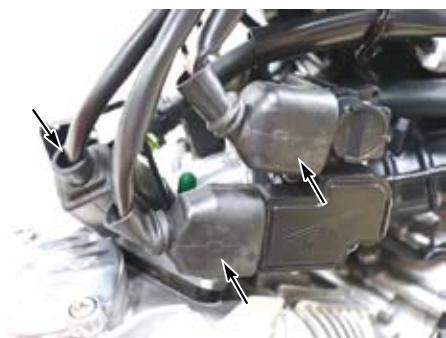
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルトワッシャ
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



- フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
- ※リテーナから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。



- スロットル開度センサー 3P カプラ、インジェクタ 2P カプラ、ソレノイド 2P カプラを接続する。



●アイドリング回転数の確認・調整

- 出荷時にアジャストスクリーウの調整は行っておりますが、車両の仕様や個体差により暖気運転後のアイドリング回転数が基準値に収まらない場合があります。
 - もし基準値に収まらない場合はスロットルブリー下部のロックナットを緩め、アジャストスクリーウにて調整を行って下さい。
 - ・回転が低い場合
 - ⇒アジャストスクリーウを締め込む。
 - 調整後、ロックナットを締め付ける。
 - ・回転が高い場合
 - ⇒アジャストスクリーウを緩める。
 - 調整後、ロックナットを締め付ける。
- 基準アイドリング回転数：1300rpm～1500rpm

▲注意：アイドリングの調整を行った場合は、FI コン TYPE-X とのスロットルポジションの同調を行う事。
▲警告：必ず換気の良い安全な場所で、十分注意してエンジンを始動させる事。

●スロットルポジションの同調

- FI コン TYPE-X の取説に従い、実際のスロットルポジションとFI コン TYPE-X のスロットルポジションデータがシンクロする様に補正を行う。

●外装類及びエキゾーストマフラーの取り付け

- 純正サービスマニュアルを参照し、各外装類及びエキゾーストマフラーを取り付ける。

